

6月 病児保育だより

令和7年度
病児保育ひよこハウス

新年度スタートしてから2か月。環境の変化や大型連休を経て子供さんもすっかり新しい環境に馴染んで来られたのではないのでしょうか。

春から初夏・梅雨と、子供さんたちが季節の移り変わりを体感するには良い時期ともいえます。ですが気温・湿度ともに上がり汗ばむ季節でもあります。汗対策をはじめ、健康管理には十分気を付けていきましょう。



流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)



おたふくかぜとは?!

ムンプスウイルスにより、耳下腺や顎下腺が炎症を起こし、顔がおたふくのように腫れるので「**おたふくかぜ**」ともよばれる伝染性の疾患です。
3歳～6歳の小児に多い感染症ですが、他の年齢でも感染することがあります。成人が感染すると重くなる傾向があります。

症状

発熱と唾液腺(耳下腺・顎下腺・舌下腺)の腫脹・疼痛があります。
発熱や耳下腺腫脹・疼痛はないこともあり、明らかな症状のない※不顕性感染例が約30%存在します。
発熱は1～6日間程度続きます。
発熱が見られない場合もあります。

※不顕性感染
↳症状が現れないこと



初期治療と注意すること

ムンプスウイルスに効く薬はありません。
安静を保ち、発熱や痛みには鎮痛解熱剤、また痛みなどは患部を冷やしてあげると和らぎます。
柔らかい食事にすることや水分補給に注意しましょう。
唾液の分泌により痛みが増すため、酸味(すっぱいもの)の強いものは控えましょう。
片方の耳の聞こえが悪くなることがあります時々チェックしましょう。
※発熱、頭痛、嘔吐があるときは髄膜炎が疑われます。直ぐに診察してもらいましょう。

合併症

無菌性髄膜炎
ムンプス難聴
脳症・脳炎
精巣炎・卵巣炎などの
重い合併症をきたすこともあります。

感染経路

ムンプスウイルスが喉や鼻から入って感染(飛沫感染)します。気道の粘膜で増殖した後全身に回って、耳下腺や顎下腺に病変を起こします。不顕性感染の場合でもウイルスの排泄はあるため、人に移す可能性があります。

潜伏期間

16～18日(2～3週間)
※人にうつしやすい時期は、耳下腺が腫れる1～2日前～腫脹後5日目まで

登園・登校の目安

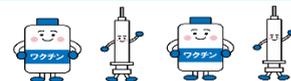
唾液腺(耳下腺・顎下腺・舌下腺)の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること。



特に注意して!!

●●ムンプス難聴とは●●

ムンプス発症後に起こる急性の難聴です。ムンプス自体の症状の重さと関係なく、軽症でも不顕性感染でも難聴になることがあります。
ムンプス難聴に対しての治療法はないので、予防するしかありません。
おたふくかぜ(流行性耳下腺炎・その他の合併症)の予防として、**おたふく風邪ワクチン接種が最も効果的です!!**
1歳以降に任意接種として、1回または2回の接種が推奨されています。



4月、5月の利用者の主な症状

急性上気道炎・嘔吐下痢症
ヒトメタニューモウイルス感染症RSウイルス感染症・手足口病
インフルエンザB・扁桃炎

病児保育のご利用・登録の際、ご不安な保護者様もいらっしやるとお思います。お気軽にお問い合わせください◎